

はじめに

i-ファイルの“i”には

「individual（個別の、個人の）」や

「identity（個性、主体性）」、

「愛」という意味がこめられています。

i-ファイルは、「子ども自身」のためのものです。

個別記録票“i-ファイル”は、発達に遅れやかたよりがあり、特別な支援を必要とする子どもや保護者が、乳幼児期から成人期まで継続的な支援が受けられることを目的に作成されました。

i-ファイルには、子どもに関する様々な情報と、大切な歴史がつづられていきます。

子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるよう、子どもの様子や、これまでに受けてきた支援の内容などが書き込んだり、はさんだりできるようにしています。

i-ファイルは、子どもの成長を応援する全ての人々の理解と協力により、一貫した支援に活かされるためのものです。

調布市では、子どもの成長を応援する、全ての人々の共通理解のもとで、一貫した支援ができるよう、i-ファイルを配付しています。

問合せ先 調布市子ども発達センター
調布市西町 290-49
電話 042-486-1190



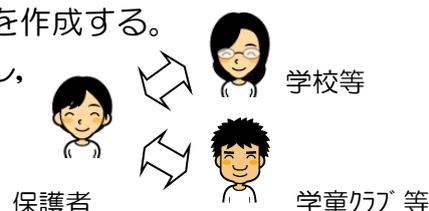
“i-ファイル”利用のてびき

☆ 対象

調布市内に在住で、発達の心配があり、個別の配慮を必要とするお子さん。

☆ 利用方法

- ① 保護者が生育歴や受診歴等を各シートに記入する。
- ② 保護者と関係機関のスタッフが、他機関に伝えたいことや配慮してほしいことを確認し、スタッフが「支援のまとめ」を作成する。
- ③ 保護者は「支援のまとめ」や、シートを活用し、お子さんについて利用機関に説明する。



☆ 利用するメリット



本人

関係機関が連携することで、支援の積み重ねができ、いろいろな場所で、より安心して過ごすことができます。

関係機関を利用する度に、最初から説明をする負担が軽減されます。



保護者

他機関からの情報を得ることができ、連携が取りやすくなります。必要な配慮等を事前にすることができ、そのお子さんにあった支援が可能になります。



☆ 保護者のみなさまへ

- i-ファイルは保護者が管理・保管します。情報に変更があった場合は、訂正・加筆してください。（必要な項目のみを記入してください）
- ホームページからダウンロードができます。
「手書き版」と直接入力できる「入力版」があります。

☆ 関係機関のみなさまへ

- 関係機関のスタッフは、最新情報が確認し、必要に応じて加筆・訂正し、情報を更新してください。
- コピーをする場合、関係機関同士で情報交換する場合は、必ず保護者の承諾のうえ、取り扱いには充分注意してください。